

I. 公益財団法人仙台観光国際協会 令和5年度事業報告

令和5年度の事業については、海外旅行博への出展やインバウンド強化を図るための各種セミナーを開催するとともに、就航都市等において観光プロモーション及び物産品の販売を実施し、国内外からの観光客誘致拡大に取り組んだ。また、候補DMOとして海外からのMI旅行誘致のための実証プログラムの開発を行ったほか、デジタルマーケティングを活用した観光客実態調査を実施する等、登録DMOへ向けた取り組みを進めた。コンベンション推進については、国際・国内会議の開催誘致や助成を行うとともに、国際会議ボランティアの育成・派遣や支援メニューの提供によるおもてなしの向上を図った。外国人住民に対しては、日本語講座や専門相談会等を定期的に開催することで、生活に必要な情報について学べる場を提供したほか、多言語による生活情報の発信や相談対応を行った。

[公益目的事業]

1. 観光振興に関する事業

国内ではコロナ禍前の約9割まで人流の回復が図られてきた一方、海外からの誘客においては、全国に比べて回復が遅れているのが現状である。海外プロモーションでは台湾・タイにおける仙台市のトップセールスをはじめ、各旅行博への現地出展を行うとともに、事業者支援やインバウンド向け商品の販売体制の整備に取り組んだ。また、国内プロモーションにおいては、名古屋、札幌、大阪等における就航都市プロモーションや教育旅行セールスなど、交流人口の回復に繋げる施策を積極的に展開した。

(1) 海外プロモーション事業

行政及び民間事業者等と連携し、アジア地域等からの訪日外国人観光客の誘致拡大を図った。

① 誘致事業

台湾やタイ等からの個人旅行やインセンティブツアー誘致拡大並びに観光目的地としての仙台の認知度向上及び仙台を訪問先とする旅行商品の更なる造成を目的とし、相手国の旅行博への出展、旅行エージェントへのセールス、関係者の招請等誘致PR事業を実施した。

i. 台湾、タイにおける観光客誘致プロモーションの実施

ア 台湾、タイでの旅行博への出展

- ・大台南国際旅展 2023 (TTF) (令和5年11月17日(金)～20日(月))
- ・第29回タイ国際旅行博 (TITF) (令和6年1月25日(木)～28日(日))

イ タイから東北への定期便利利用促進プロモーション

東北観光推進機構と連携し、旅行博への出展のほか、現地旅行会社やインフルエンサーの招請等により情報発信を行った。

- ・インフルエンサー招請 (令和5年4月19日(水))
- ・旅行会社招請 (秋季: 令和5年10月23日(月)・24日(火), 冬季: 令和6年2月6日(火))

ウ 仙台市主催プロモーションイベントへの参加

台湾、タイでの仙台市主催のトップセールスやチャーター便訪問団において、商談会やセールススクールに参加した。

- ・台南チャーター便を活用した訪問団派遣（令和5年6月26日（月）～30日（金））
- ・タイトップセールスへの参加（令和5年11月1日（水）～5日（日））
- ・台南トップセールスへの参加（令和6年2月22日（木）～26日（月））

ii. 旅行関係者の招請

ア 台南市政府観光旅游局・台南市旅行商業同業公会等の表敬対応（令和5年4月5日（水））

イ タイ旅行関係者招請事業（令和6年2月26日（月）～3月1日（金））

タイ旅行業協会（TTAA）の役員を招請し、仙台市及び近隣縣市町村の観光施設等を見学した。また、招請に合わせて、事業者向けプレゼンテーションを実施し、宿泊施設や観光施設等をPRする機会を設けた。

iii. インセンティブツアーの支援

ア 仙台へインセンティブツアーで訪れた団体への各種おもてなしメニューの提供（台湾2件）

イ 大台南国際旅展及びタイ国際旅行博の商談会への参加、タイ現地旅行会社に向けた仙台の観光PR

- ・大台南国際旅展2023（令和5年11月17日（金）～20日（月）商談件数：13社）【再掲】
- ・タイ国際旅行博商談会「TITF Business Matching2024」（令和6年1月24日（水）商談件数：19社）

iv. 台湾アウトバウンド強化事業

ア 「Fun!台湾 in 仙台港」ブース出展（令和5年11月25日（土）～26日（日））

日本旅行業協会東北支部と連携し、三井アウトレットパーク仙台港が主催した「Fun!台湾 in 仙台港」にブース出展し、台湾アウトバウンドをPRした。

イ 台湾観光PR動画放映（令和6年3月4日（月）～31日（日））

藤崎前の「まちくるビジョン」で、台南市政府観光旅游局提供の観光PR動画を放映した。

② 受入整備事業

インバウンドの受入体制を強化するため、関係機関等と連携し、仙台を訪れる外国人観光客等が仙台に滞在中、快適に過ごせるよう受入環境を整備した。

i. インバウンドセミナーの開催

インバウンドの受け入れ再開に合わせ、仙台市内とその周辺の観光関連事業者に対し、外国人観光客の受入環境整備を図ることを目的に、インバウンドの市場動向やインバウンド観光に対する戦略や方向性、デジタルマーケティング等をテーマとしたセミナーを開催した。

ア 令和5年度外国人観光客対応力向上セミナー（令和5年9月20日（水）仙台国際ホテル）

テーマ：「インバウンドの現状と外国人観光客集客のコツ」 / 参加者数：63名

イ 令和5年度外国人観光客対応力向上セミナー（令和6年3月8日（金）仙台国際センター）

テーマ：「街の誘客促進と個展の売上アップに向けて」 / 参加者数：105名

※観光コンベンションセミナーと共催にて実施

ii. インバウンド対応力向上に向けた事業者支援

インバウンドを効果的に誘客するため、二次交通の移動手段であるタクシー業界（宮城県タクシー協会仙台地区総支部）を対象に、人材育成、受入環境整備、集客やコンテンツ販売促進に向けた支援を行った。

ア アンケート・ヒアリング

アンケート（ドライバー対象：79件） / ヒアリング（管理職，営業担当者等：10社）

イ セミナー

- ・「ドライバー向けインバウンド対応力向上セミナー」（令和6年2月7日（水）仙台国際センター 参加者数:37名）
- ・「管理職・営業担当向けインバウンド対応力向上セミナー」（令和6年2月16日（金）宮城県タクシー協会仙台地区総支部 参加者数:9名）

ウ インバウンド向けコース設定及びモニターツアー

- ・第1回（令和5年12月6日（水）秋保コース（4時間） /参加者数：台湾在住台湾人4名）
- ・第2回（令和6年2月8日（木）仙台東部コース（8時間） /参加者数：同7名）

エ インバウンド向けウェブページ作成（多言語）

オ 営業ツール作成

- ・インバウンド向け日本語会話シート
- ・仙台，作並，秋保の音声ガイドの整備（英語・中国語繁体字）

カ インスタグラムでの情報発信

iii. インバウンド向け着地型旅行商品販売体制の構築

市内のインバウンド向け体験型観光コンテンツや着地型旅行商品を有する市内観光関連事業者の商品販売の自走化，及び旅行サービス手配業者（ランドオペレーター）連携力の強化や販路拡大，継続的な販売体制の構築に向けた支援を行った。

ア セミナー・ワークショップ

- ・インバウンド向け着地型旅行商品検討会入門編（令和5年10月23日（月）参加者数：12名）
- ・インバウンド向け着地型旅行商品検討会応用編（令和6年1月18日（木）参加者数：11名）

イ OTA 掲載登録個別相談会

- ・令和5年12月7日（木），15日（金），令和6年1月16日（火）参加者数：12社

ウ 体験特化型 OTA への掲載支援

「仙台旅先体験コレクション」を主とした既存の体験型観光コンテンツの整備・磨き上げを行い，インバウンド向け体験特化型 OTA への商品登録・掲載に係る支援を行った。

- ・掲載数：8事業者 22プラン / ・PV数：4,873 / ・予約件数：65件(153人) /
- ・割合：男性 32%，女性 68%

※集計期間：令和5年9月19日（火）～令和6年2月29日（木）

エ 特集ページの制作

体験特化型 OTA 「アクティビティジャパン」の公式ウェブサイトにて，仙台の体験型観光コンテンツを集約した特集ページを制作した。（日本語・英語・中国語繁体字・タイ語）

(2) 国内プロモーション事業

仙台を訪れる国内観光客の一層の拡大を図るため、関係各所と連携し、各種事業を実施した。

① 観光行事等開催支援事業

地域観光行事等に対し協賛負担金を拠出し、観光振興の促進を図った。

i. 祭り・イベント開催の支援

仙台・青葉まつり、仙台七夕まつり、定禅寺ストリートジャズフェスティバル、SENDAI 光のページェント等の実行委員会と連携し、お祭り・イベントの開催支援を行った。また、「東北絆まつり 2024 仙台」の各種会議等へ参加した。

② 観光キャンペーン等推進事業

集客効果が高く、かつ仙台の認知度向上につながる観光関連企画や国内就航都市において誘致プロモーションを開催し、仙台の魅力づくりと誘客促進を図った。

i. 就航都市等における観光客誘致プロモーションの実施【重点】

観光客の誘客促進を図るため、仙台市と連携して国内就航都市である札幌、大阪での現地セールスや観光物産展を開催し、仙台の観光プロモーション及び物産品の販売等を行った。

- ・伊達な仙台いいもの・いい旅フェア（札幌）（令和5年7月6日（木）～8日（土））
- ・伊達な仙台いいもの・いい旅フェア（大阪）（令和5年10月25日（水）～27日（金））

ii. 旅行商品の造成支援

旅行会社が造成する旅行商品が掲載されたパンフレットに対し、仙台の観光情報等の掲載を条件として、その作成費用の一部を助成した。（9件 計90万円）

iii. 東北等近県における観光客誘致プロモーション（マイクロツーリズム推進事業）の実施

東北等近県からの誘客促進を図るため、青森市で開催された「東北絆まつり 2023」に出展し、仙台の観光プロモーションを行ったほか、東京でのポップアップイベントの開催や山形駅での仙台青葉まつりを紹介する観光PRイベントを実施した。

- ・東北絆まつり 2023（令和5年6月17日（土）～18日（日）青い海公園他（青森市））
- ・伊達な仙台いいもの・いい旅フェア（令和5年11月3日（金・祝）～4日（土）MuSuBu（東京都港区白金台））
- ・仙台観光フェア in 山形駅（令和6年3月23日（土）JR山形駅構内（山形市））

iv. 仙台七夕まつり等祭り・イベントへの参画

仙台市内で開催される「仙台七夕まつり」等の祭りやイベントを活用し、仙台の観光スポットや食、体験プログラム等、仙台の魅力をPRした。

v. プロスポーツを活用した誘客促進及び情報発信

せんだい旅日和において、「ベガルタ仙台」の公式応援ソングを製作したVTuber 緑仙（りゅーしゅん）を活用した特集を公開し、誘客促進を図るとともに、SNS等の活用によりインプレッション数69万impsを獲得した。

vi. 観光誘致セールスの実施

首都圏旅行会社への誘致セールスを実施したほか、「なかの東北絆まつり 2023」に出展し、観光プロモーションを実施した（令和5年10月28日（土）～29日（日）中野駅北口バスロータリー、中野区役所正面玄関広場）

③ 教育旅行受入促進事業

教育旅行に対応できる仙台市内の宿泊施設や文化・観光施設等と連携し、本市への教育旅行に関する問合せ等に関して、市内各施設の情報提供やコーディネートを行った。また、他県の旅行会社や学校に対して、地方自治体や民間企業等と連携し、セールス活動や現地説明会等を実施した。

i. 修学旅行誘致キャンペーンの実施

ア 仙台市、宮城県、伊達な広域観光推進協議会等と連携した北海道での現地プロモーション及び中学校教育旅行の誘致

【セミナー・商談会】(令和5年11月29日(水) ホテルマイステイズ札幌アспен)

参加者(北海道側): 19団体30名(中学校9校11名, 旅行会社10社19名)

参加者(県内側): 12団体13名(自治体・観光協会等3団体4名, 施設・民間9団体9名)

【セールス】(令和5年11月28日(火)～12月1日(金))

セールス先: 35か所(函館市, 札幌市, 小樽市ほか)(旅行会社13社, 中学校21校ほか)

イ 東北観光推進機構「教育旅行誘致部会」が実施する事業と連携した情報発信

ウ 伊達な広域観光推進協議会と連携した関東, 中部, 関西等から教育旅行の誘致

【東京教育旅行セールス】(令和5年6月6日(火)～7日(水))

【伊達な学び旅モニターツアーアテンド】(令和5年8月25日(金) 大手旅行会社10名招請)

【京都・滋賀教育旅行セールス】(令和5年9月12日(火)～13日(水))

エ 教育旅行受け入れ媒体及び資料等の作成・整備

仙台市内中心部で自主研修や事前学習, 教育旅行の計画を行う児童・生徒向けのガイドブックや資料等を作成したほか, 一部の資料をWEB化した。

- ・仙台自主研修ガイド(発行部数: 22千部)
- ・教育旅行ガイドブック「せんだい未知知るべ」(発行部数: 6千部)
- ・テーマ別・学習スポット「仙台見聞録」(仙台観光情報サイト「せんだい旅日和」内にスポット紹介としてCMSを構築)

④ 観光客受入整備事業

体験プログラムの認知度向上・利用拡大に向けた取組みの強化, 及び回復傾向にあるインバウンドに対応するプログラム創出や受入環境への支援を実施したほか, 「観光ボランティアガイド」を支援するなど観光客の受入体制の整備を進めた。また, 東北観光推進機構, 仙台まるごとパス運営協議会等の組織と連携を図り, 宿泊施設団体と宿泊客増大に向けて緊密に情報交換を行った。

i. 体験プログラムの推進【重点】

体験プログラムの認知度を向上させ利用拡大を図るため, SNS等によるプログラムの情報発信, 利用促進を目的にプログラム事業者対象の研修会を実施した。

ア プログラムの認知度向上・利用拡大に向けた「旅コレフェスティバル」の開催

【仙台旅先体験コレクションフェスティバル 2023】

期間：令和5年4月29日（土）～8月27日（日）

内容：フェス用プログラムや期間限定の特別価格や特典付きのプログラムを造成し、特設サイトでプロモーションし利用拡大を促したほか、フェス期間の利用促進を図るためのイベントを企画実施した。

【仙台旅先体験コレクションフェスティバル in 未来の杜せんだい 2023】

期間：令和5年4月30日（日）～6月4日（日）

内容：第40回全国都市緑化フェアに会場された観光客に向け、ワークショップ、ステージイベント出演、芝生イベント実施事業者を募集し、当日のおもてなしと体験プログラムの認知度向上を図った。参加者数：1,621名。

【仙台旅先体験コレクションフェスティバル 2023～夏博～】

期間：令和5年6月17日（土）～18日（日）

内容：フェス期間に実施する主に夏向けのプログラムを中心に利用促進を図るため、ぶらんど～む一番町商店街で体験イベントを実施した。

来場者数：令和5年6月17日（土）2,339名、18日（日）1,521名。

【仙台旅先体験コレクション in 駅たびコンシェルジュ仙台】

期間：①5月13日（土）・14日（日）、②6月10日（土）・11日（日）、③7月22日（土）・23日（日）、④8月6日（日）・7日（月） 8日間

内容：仙台駅構内「駅たびコンシェルジュ仙台」において、JR仙台駅を利用する来仙客及び仙台市民向けに4事業者がワークショップを開催した。参加者数：239名。

イ 地域の特徴を生かしたプログラムの創出とプロモーション

各種体験プログラムへの支援と旅コレサイト内でのプロモーションを継続して実施した。

- ・市中心部：仙台七夕まつりや伊達文化に関わるプログラム、都市緑化フェア会場でのワークショップ
- ・市西部：自然に触れるアクティビティや秋保地区街歩き、宿泊施設を利用したワークショップ
- ・市東部：東部地区で各事業者が実施する体験プログラム（フルーツ狩り、笹かまぼこ作り等）

ウ 宿泊促進と消費拡大に繋がるナイトタイムエコノミープログラムの創出

宿泊需要促進のため、ナイトプログラムやイベントをサイトに掲載したほか、前泊需要に繋がる早朝プランを創出し、プロモーションを行った。

エ 研修会や交流会など、体験プログラム運営事業者への支援

事業者向けInstagramを活用したプロモーション強化を目的に、研修会を実施した。

【Instagram研修&ワークショップ】

令和6年2月9日（金）会場：仙台観光国際協会会議室、参加者数：15名（15事業者）

【訪日外国人旅行者向け体験プログラム造成等支援事業】

訪日外国人旅行者向けの体験プログラムを造成と受入整備のため、仙台市内で継続的に実施が見込まれる事業に対し、補助金を交付した。10万円×6団体（6プログラム）計60万円。

オ 「仙台旅先体験コレクション」の管理運用等

体験 Web サイト「仙台旅先体験コレクション」の管理運用と仙台 MaaS と連携しながら、デジタルマップの搭載による機能強化を図った。

ii. 観光ボランティアガイド団体の活動支援

ア 観光ボランティア団体等への助成

仙台市内で活動する観光ボランティア団体が主催する事業等に対して助成を行った。交付件数：5 団体（8 件）、交付金額：383 千円。

イ 市内街歩き企画「仙台城登城路を歩こう」

期間：令和 5 年 11 月 3 日（金・祝）～23 日（木・祝）の土日祝日 ※全 8 回

内容：観光ボランティアガイド団体と連携し、仙臺緑彩館から仙台城本丸跡までの登城路を会場に、市内街歩き企画を実施した。参加者数：105 名

ウ 「観光・おもてなし研修会」

期間：令和 6 年 2 月 18 日（日） 仙台市役所 10 階

内容：観光ボランティアガイド団体の会員及び観光ボランティアガイドに興味のある一般の方を対象に、風の時編集部の佐藤正実氏を講師に招き、「古地図でたのしむ仙台のまちなみ」をテーマに研修会を実施した。また、当協会から仙台観光動向についての報告を行った。参加者数：124 名。

iii. 街角案内所における情報発信

市内の商業店舗等と連携して設置している街角案内所 17 施設において、観光情報をはじめ定期的な情報発信とパンフレット類の提供を行った。

iv. 他団体との連携による情報発信

宿泊施設・観光施設・交通事業者等と連携した誘客の促進を図った。また、「仙台牛たん振興会」作成パンフレット「仙台牛タンマップ」における情報の発信等に協力した。

v. 仙台まるごとパス運営協議会等の事務局運営

仙台圏の二次交通商品「仙台まるごとパス」と「るーぶる仙台」の宣伝・販売促進を担う「仙台まるごとパス運営協議会」及び「仙台市観光シティループバス運行協議会」事務局を運営した。

ア 仙台まるごとパス運営協議会事務局運営

- ・リーフレット、ポスター、特典ブック等の作成、パス販売促進策の推進と広報宣伝の実施
- ・令和 5 年度販売実績：18,021 枚（前年度比 129%）

イ 仙台市観光シティループバス運行協議会事務局運営

- ・リーフレット等の作成と活用。乗車実績向上にむけた広報宣伝の実施。
- ・令和 5 年度るーぶる仙台利用実績：492,013 名（前年度比 160%）

(3) 仙台西部地区観光振興事業

仙台の観光振興にとって重要な観光資源を有する仙台西部地区への観光客誘致拡大を図るため、各種事業を展開した。

① 西部地区の観光振興に関する事業

i. 観光振興(地域活性化支援)事業の助成【重点】

仙台西部地域で活動する団体が、観光資源を活用した誘客促進や観光客の受入環境整備等の観光振興を目的として実施する事業に対して、経費の一部を助成した。

実施地区	件数	金額
秋保地区	8件	6,564,000円
作並・定義地区	7件	4,101,000円
泉西部地区	2件	1,442,000円
合計	17件	12,107,000円

ii. 仙台西部観光振興推進協議会の運営

仙台西部地区の一体的な観光振興を図るうえでのニーズ等を集約する観光事業者組織「仙台西部観光振興推進協議会」の事務局を運営した。

ア 【第29回】(令和5年5月24日(水) 仙台観光国際協会議室 出席者10名)

議題：①「仙台観光動向レポート」、② 今後の西部観光振興事業、③ 観光地域づくり候補法人(候補DMO)の登録、及びデジタルマーケティングの活用

イ 【第30回】(令和5年7月4日(火) 仙台観光国際協会議室 出席者11名)

議題：今後の西部観光振興事業

ウ 【第31回】(令和5年9月12日(火) 仙台観光国際協会議室 出席者13名)

議題：① 令和5年度西部観光振興事業(助成金交付事業)、②「高速道路標識」の要望窓口及び「みちのく緑の道」の状況確認、③ 今後の西部観光振興事業

エ 【第32回】(令和5年11月7日(火) 仙台観光国際協会議室 出席者12名)

議題：①「高速道路標識」及び「みちのく緑の道」の要望、②「SENDAI 光のページェント」との連携、③ 知名度向上及び場所イメージアップに向けての「名称変更」

オ 【第33回】(令和6年2月13日(火) 仙台観光国際協会議室 出席者10名)

議題：①「第40回全国都市緑化仙台フェア」、② 令和6年度西部観光振興事業、③「SENDAI 光のページェント」との連携

iii. 観光事業者等との連携による観光振興策の創出

仙台市と連携し、仙台西部地区内の観光事業者等と積極的に情報交換を行い、地域の特徴や魅力を活かしたエリア別ブランディングを推進した。また、「せんだい旅日和」に「ゆっくりじっくり作並・定義リトリート」を紹介する特集ページを掲載し、ブランディングの確立に繋がった。

iv. 広報活動支援

「せんだい旅日和」やSNSを活用し、仙台西部地区(秋保、作並・定義、泉西部)のイベント情報を発信し、集客の向上を図った。

v. 誘客支援

仙台西部地区を網羅したクーポン付マップのWEB情報を更新し、誘客支援を行った。また、仙台西部地区で開催されるマルシェを1つにまとめた案内チラシを作成し、泉区役所、各総合支所、秋保・里センター、ラサンタ等に配布し、集客の拡大と各マルシェの周遊を図った。

② 秋保地区の観光振興に関する事業

秋保地区の観光振興を目的に、地域で行われる事業の調整・PRを行うとともに、魅力向上に繋がる企画の実施や街路灯・案内看板等を管理し、観光客を迎え入れる環境を整備した。

i. 観光施設等の維持管理

秋保温泉の街路灯施設、案内誘導柱、案内看板、歓迎こけし塔等の維持管理等を行った。

ii. 秋保温泉郷旅あるきマップ等の作成

秋保地区の観光施設や飲食店等を紹介する「秋保温泉郷旅あるき MAP」(7 万部)を作成・配布し、観光客に対し同地区の魅力を発信した。

iii. 祭り・イベント等の開催支援

秋保温泉活性化事業、大東岳山開き、まつりだ秋保等への開催を支援した。

- ア 野尻交流カフェばんどころ(令和5年4月15日(土)～12月11日(日)の毎週土日)
- イ 第8回手ん店～あきうクラフトフェア～(令和5年4月15日(土)～16日(日))
- ウ 大東岳山開き(令和5年5月28日(日))
- エ さかいの産直市(令和5年6月17日(土)～10月29日(日)の毎週土日)
- オ 秋保温泉活性化事業(花いっぱい運動)(令和5年5月1日(月)～11月30日(木))
- カ アキウルミナ2023(令和5年10月21日(土)～11月23日(木・祝))
- キ まつりだ秋保(令和5年10月29日(日))
- ク 秋保境野の魅力たっぷり堪能ツアー(令和5年10月1日(日))

③ 作並・定義地区の観光振興に関する事業

作並・定義地区の観光振興を目的に、地域で行われる事業の調整・PRを行うとともに、魅力向上に繋がる企画の実施や街路灯・案内看板等の管理を行い、観光客を迎え入れる環境を整備した。

i. 観光施設等の維持管理

作並温泉や定義地区の街路灯施設、歓迎こけし塔、歓迎塔、案内看板等の維持管理を行った。

ii. 仙合作並温泉・定義旅あるきマップ等の作成

作並・定義地区の観光施設や飲食店等を紹介する「仙合作並温泉・定義旅あるき MAP」(4.5万部)を作成・配布し、観光客に対し同地区の魅力を発信した。

iii. 祭り・イベント等の開催支援

作並・定義地区で開催される各種祭り・イベント等の開催を支援した。

- ア 作並駅での臨時列車歓迎(令和5年4月22日(土)、10月29日(日)、令和6年3月2日(土))
- イ 定義歩行者天国(令和5年5月3日(水・祝)～7日(日)、11月3日(金・祝)、11月5日(日))
- ウ 定義如来夏祭り(令和5年8月5日(土))
- エ ほっこり作並雪まつり(令和6年1月27日(土))

④ 泉西部地区の観光振興に関する事業

泉西部地区の観光振興を目的に、地域で行われる事業の調整・PRを実施するとともに、魅力向上に繋がる企画を実施した。

i. 泉西部旅あるきマップ等の作成

泉西部地区の観光施設や飲食店等を紹介する「泉西部旅あるき MAP」(1.5万部)を作成・配布し、観光客に対し同地区の魅力を発信した。

ii. イベント等の開催支援

泉西部地区で開催される各種イベント等の開催に向けた広報支援等を実施した。

- ア 泉ヶ岳山開き(令和5年4月15日(土))
- イ 根白石おもしろ市(令和5年4月15日(土)～12月16日(土)の毎月第3土曜)

(4) せんだい・宮城フィルムコミッション運営事業

映像作品を通じた地域振興・観光振興を目的とし、映像製作者を対象に、ロケーション撮影に必要な支援の無償提供や、ロケ地に関する情報提供、撮影許認可の簡便化、市民エキストラの手配等を行ったほか、支援した映像作品が公開・放映される際の宣伝活動を実施した。

① せんだい・宮城フィルムコミッション運営事業

i. ロケーション撮影誘致と支援業務

国内の映像作品を中心に、関係各所と連携しながらロケーション撮影を支援した。

- ・ 呉美保監督作品「ぼくが生きてる、2つの世界」
- ・ 岸善幸監督 2025 年劇場公開映画 等
- ・ 映像制作者がテレビ番組等で自由に利用できる仙台・松島の動画コンテンツを仙台観光国際協会と共同で制作

ii. 地元ロケ作品の積極的なPR活動の展開

年度内に2作品が公開され、関係各所と連携したプロモーション活動を実施した。

- ・ 映画「キリエのうた」及びNETFLIX映画「パレード」を活用したプロモーション
- ・ 宮城県と連携した仙台・宮城が舞台の漫画・アニメの探訪マップの作成

iii. 地域啓発事業

- ・ 地元メディア及び紙面媒体等を通じたフィルムコミッション活動の告知
- ・ 仙台短編映画祭 2023 への参画
- ・ 設立 20 周年事業としてセミナー及び上映会並びにロケ地巡り

iv. 支援実績

- ・ 映画, TV 番組, CM, 書籍等 支援件数 190 件 (うち撮影実績 35 件)

v. 経済効果

当事業の実施による宮城県全体に対する経済効果は下記のとおり。

- ・ 令和 5 年度直接経済効果： 約 41,180 千円
- ・ 産業連関表に基づく二次波及効果： 約 66,000 千円

(5) 仙台・青葉まつり支援事業

大規模な祭りの魅力を活かした誘客拡大を目的に、仙台・青葉まつり協賛会事務局や伊達政宗公山鉾巡行に関わる業務を行ったほか、青葉まつり開催期間に合わせて、伊達政宗公の霊廟「瑞鳳殿」において、仙台の工芸品等を奉納し、瑞鳳殿資料館で展示した。

「第39回仙台・青葉まつり」は、令和5年5月20日(土)～21日(日)の2日間、市民広場、勾当台公園、定禅寺通等を会場に開催され、市内外から約87万人が来場した。

2. 物産振興に関する事業

仙台地域の伝統・文化の継承と発展に寄与することを目的に、仙台の物産品・名産品等のPR及び仙台の伝統工芸の後継者育成をはじめ、物産品・名産品等の販路拡大のための支援を行った。

(1) 物産振興に関する事業

① 物産振興に関する事業

i. 「2024 仙台市工芸展」の開催

令和6年2月16日（金）～2月25日（日）の10日間、エスパル仙台本館を会場に、仙台の工芸品の展示・販売会を開催した。

ii. 物産品等による観光客誘致プロモーションの実施【重点】

ア 姉妹都市・就航都市等への物産品 PR

- ・伊達な仙台いいもの・いい旅フェア（名古屋市）

令和5年4月21日（金）～23日（日）/ららぽーと名古屋みなとアクルス1階

- ・伊達な仙台いいもの・いい旅フェア（札幌市）

令和5年7月6日（木）～8日（土）/札幌駅前通地下広場 北3条交差点広場

- ・仙台・山形観光物産展（東京都千代田区）

令和5年9月26日（火）～28日（木）/東京シティアイ パフォーマンスゾーン

- ・伊達な仙台いいもの・いい旅フェア（大阪市）

令和5年10月25日（水）～27日（金）/ディアモール大阪 円形広場

- ・伊達な仙台いいもの・いい旅フェア at Musubu（東京都港区白金台）

令和5年10月31日（火）～11月5日（日）/八芳園ポップアップショールーム「Musubu」

- ・仙台観光フェア in 山形駅（山形市）

令和6年3月23日（土）/JR 山形駅連絡通路

イ 展示会・物産展等出展

- ・夏の仙台いいものフェア

WEB販売：令和5年7月21日（金）～8月8日（火）

/仙台観光国際協会オンラインショップ「伊達な銘品横丁」

現地販売：令和5年8月5日（土）～7日（月）

/JR 仙台駅2階 東西自由通路「杜の陽だまりギャラリー」

- ・冬の仙台いいものフェア

WEB販売：令和5年12月4日（月）～令和6年1月14日（日）

/仙台観光国際協会オンラインショップ「伊達な銘品横丁」

現地販売：令和5年12月4日（月）～6日（水）

/JR 仙台駅2階 東西自由通路「杜の陽だまりギャラリー」

- ・仙台・青葉まつりと連携した仙台駅銘品・工芸品フェアの開催

「2023 仙台・宮城の味と技フェア」

令和5年5月15日（月）～21日（日）/JR 仙台駅2階 ステンドグラス前

iii. 伝統的工芸品製造者等の後継者人材育成

伝統的工芸品製造事業者等の後継者育成支援を目的に、若手後継者の会の事業に助成した。

iv. 東北等近県における物産品等による観光客誘致プロモーションの実施（再掲）

v. 地元銘品・銘菓や伝統工芸品等の奉納と展示（奉納の会）

瑞鳳殿で地元銘品等を伊達政宗公に奉納するとともに、奉納品を「瑞鳳殿資料館」に展示した。

vi. 物産関係団体との連携による情報発信（情報発信：計13件）

ア 宮城県物産振興協会・観光土産品公正取引協議会との連携

- イ 仙台商工会議所との連携
- ウ 仙台市産業振興事業団との連携
- エ 仙台・福島・山形三市観光・物産広域連携推進協議会との連携

vii. 震災復興支援物産展の開催・協力

東日本大震災以降、復興支援をいただいた全国の自治体や関係団体からの物産展への出展依頼に関し、賛助会員に周知並びに出展調整を行った。

ア「東北絆まつり 2023 青森」で、食品販売ブースの出店調整と現地で観光 PR 等を実施した。

イ 震災復興支援に係る物産展開催要請に対する対応（12月：広島市立広島商業高等学校）

viii. 仙台銘品ガイドの作成

市内の物産パンフレット（商品名、メーカー、問合せ先等掲載）である「仙台の銘品ガイド」を作成し、物産品の PR に活用した。58 千部作成。

3. コンベンション推進に関する事業

仙台市及びその周辺地域の発展と活性化を図ることを目的に、コンベンションの情報収集・誘致・支援といった一連の事業を実施した。また、新型コロナウイルス感染症が5類に移行後、参集型でのコンベンションが多く開催され、国際会議の開催件数も増加した。主催者と仙台市で誘致した「2023 米国電気電子学会国際磁気会議（INTERMAG 2023）」には、1,257 名もの外国人が参加した。

(1) コンベンション誘致・支援事業

① コンベンション助成事業

国際・国内会議の開催を仙台市に誘致するとともに、コンベンションの円滑な運営と成功に寄与することを目的に、コンベンション主催者に対し、開催助成や開催準備資金貸付を行ったほか、新型コロナウイルス対策としてハイブリッド形式コンベンション開催助成も引き続き実施した。

	項目	件数	金額
i	コンベンション開催助成(国際会議, 国内会議)【重点】	38件	24,130,000円
ii	ハイブリッド形式コンベンション会議の開催助成【重点】	17件	5,071,000円
iii	市民公開講座の開催助成	1件	300,000円
iv	コンベンション・シャトルバスの運行助成	0件	0円
v	コンベンション開催・準備資金の貸付	1件	1,000,000円

② コンベンション誘致事業

学会や大会の事務局やキーパーソンなどに対して仙台でのコンベンション開催のセールス活動及び招請活動を行うとともに、IME（国際 MICE エキスポ）や IMEX フランクフルトに出展し、商談及び仙台の魅力 PR し、国際会議を中心に誘致を図った。

i. 首都圏等における誘致セールス

- ・首都圏や東北大学を中心とした地元の会議キーパーソンへの誘致活動を訪問やオンラインで実施した。首都圏（5回：14件）、首都圏キャラバン（23件）、東北大学（10回：35件）
- ・令和5年11月9日（木）、東北大学関係者の方を対象に、「コンベンション開催支援セミナー」をオンラインで2回開催し、協会の支援事業の説明を行った。参加者数：10名。

ii. ミーティング（M）・インセンティブツアー（I）の誘致セールス【重点】

- ・企業が実施する M, I に関する誘致として、東北・関東各都県の旅行業協会等への訪問を中心に、

仙台市内の旅行代理店や宿泊施設等を含め29ヶ所へセールスを実施した(宿泊施設:8施設 MICE施設:2施設 旅行代理店:14社 旅行業協会:5支部)

- ・令和6年1月24日(水), 全国旅行業協会東京都支部が主催する浅草ビューホテルでの賀詞交歓会においてブース出展し助成事業の促進と仙台市への誘客PRを実施した。参加者数:約260名(うち旅行会社180社250名)
- ・令和5年4月1日(土)~令和6年2月14日(水)の期間, 会議等の開催の促進ならびに宿泊およびMICE施設の利用促進を図るため, 会議等の開催経費を一部助成する「仙台市企業内会議・研修会助成制度」を実施した。助成実績:23件1,751人, 助成額:8,215千円

iii. 国際MICEエキスポ(IME)への出展

令和6年2月15日(木), 国内外のMICE主催者を対象に商談を行う「IME2024」(主催:JCCB(日本コンgres・コンベンション・ビューロー), JNTO(日本政府観光局))に出展し, 会議主催者等と商談を実施した。商談件数:25件。

iv. コンベンション主催者の招請

- ・JNTOが海外の国際会議のキーパーソンを日本へ招請する事業の中止の代替として, 令和5年12月6日(水)に台湾で開催されたJNTOインセンティブ旅行商談会に参加した。商談9件。
- ・仙台を開催候補都市の一つとして検討している国際会議や全国会議の主催者を招請する視察への対応を5件行った。

v. 国際会議協会(ICCA)データの活用および情報収集

ICCAのデータベースを利用した有力な国際会議の情報を収集したほか, 総会に参加してコンベンション市場の最新の動向や開催情報を得るとともに, 関係者とのネットワークを広げ, 国際会議の誘致に結び付けた。

vi. 東北地区コンベンション合同誘致商談会への参加

令和5年12月5日(火), 都市センターホテル(東京都)で開催された東北地区コンベンション推進協議会主催において, 合同誘致商談会を実施した。出展:16団体, 来場者数:20団体30名(うち仙台ブースにて商談:9団体)。

vii. コンベンション誘致資料の翻訳

JNTOを通して海外への情報発信を行うとともに, コンベンション誘致関係の翻訳を行った。

viii. 海外からのM・I旅行誘致競争力向上事業

観光庁が調査事業の一環として募集する実証プログラムの採択を受け, 鍾景閣におけるすずめ踊りの鑑賞やベジタリアン・ヴィーガン対応の仙台筆筒料理の提供や食品サンプルづくりなどのプログラム開発を行った。

③ コンベンション支援事業

仙台で開催されるコンベンションに対し, 必要となる助言・サポート及び仙台紹介ツールの提供など, 事前準備段階から開催まで様々な支援・サービスを実施し, コンベンションの円滑な運営と成功に寄与した。また, 国際会議ボランティアの育成・派遣によるおもてなしの向上を図った。

i. MICEサポートセンターの設置・運営

コンベンション等MICE受入を目的とした各種情報の収集, セミナー等の開催を行った。

ア 「令和5年度 MICE レベルアップセミナー」(仙台コミュニケーションフェアと同時開催)

令和6年2月14日(水)、仙台国際センターを会場に、観光庁「ポストコロナに向けた国際会議誘致競争力向上事業」を主催した先生方を招請し、今後の MICE のあり方、地域の魅力の創出についてパネルディスカッションを行った。参加者数：40名。

イ 「仙台コミュニケーションフェア in 仙台国際センター」の開催

仙台国際センター、仙台市と共催で開催し、会議関係者に対し当協会の支援内容の情報提供説明を行った。

ウ WEBによる仙台の魅力の発信

企業内会議・研修会・報奨旅行向けサイトにテクニカルツアー等の情報を追加し、発信した。

エ その他支援

観光などパンフレットの提供、コンベンションバッグの提供(有料)

ii. コンベンション誘致・支援キットの作成等

- ・仙台 MICE 充実ガイド、文化観光施設割引券、各種支援案内チラシ
- ・仙台コンベンション開催業務サポーター、仙台コンベンション施設ガイド(英語版データ)

iii. 開催会議への支援メニューの提供

国際会議及び全国規模の国内会議において、アトラクション、エクスカージョン、体験プラン、感染防止対策等、おもてなしメニューを提供した(国際会議：7件、国内会議：9件)。

iv. 国際会議ボランティアの育成・派遣

ア 「仙台コンベンション学生サポーター説明会」(令和5年7月1日(土)参加者数：37名)

新たに加入した学生サポーターに対し、当協会の事業内容や国際会議の概要、学生サポーターの役割などについて説明会を行った。

イ 「令和5年度国際会議ボランティアシンポジウム」(令和5年11月25日(土)参加者数：23名)

外国人を含む来仙観光客向けの歓迎・観光案内をしている奥州・仙台 おもてなし集団「伊達武将隊」メンバーの支倉常長氏による講演と英語で意見交換を行う分科会を開催した。

ウ ボランティア派遣

国際会議のホスピタリティデスクや案内対応として、国際会議ボランティアを会場に派遣した。
派遣件数：8件(うちホスピタリティデスク設置：7件)

エ 「スペシャルサポーターの募集並びに養成講座」の開催

活動可能なサポーターの不足を補うため、新たにスペシャルサポーター募集。令和6年3月2日(土)、9日(土)、16日(土)の3日間、養成講座を開催し、新たに6名が認定された。

v. コンベンション開催時の歓迎表示

全国会議を対象に JR 仙台駅 2 階のウェルカムボード等へ歓迎表示を行った(国内会議 113 件)。

4. 多文化共生・国際交流に関する事業

言葉や習慣などの異なる外国人住民が、自らの個性を活かしながら、地域の一員として活躍できる多文化共生社会の形成を目的として、国際交流や国際理解などに関する各種事業を実施した。また、ウクライナからの避難民に対して、仙台市と連携して相談対応や通訳などの支援を行った。

(1) 外国人市民支援

① 日本語学習支援事業

生活に必要な日本語の習得を目的として、市民団体や関係機関との協働により、外国人住民のための日本語講座等を開催した。また、マンツーマンで日本語学習を支援する日本語ボランティアの研修及び活動支援を行った。

i. 日本語講座の開催

市民センターや市民団体との協働により、市内7か所に日本語学習支援の場をつくり、外国人住民が生活に必要な日本語の習得を支援した。

ア せんだい日本語講座

(前期) 5月～10月 受講者：192名 (後期) 11月～3月 受講者：150名

イ 日本語ティールーム(託児付き)

(期間) 5月～3月 受講者：60名

ウ さっと日本語クラブ(小中学生対象)

(期間) 5月～2月 受講者：43名

エ その他の日本語学習支援団体に対する広報及び活動費の支援

外国人の子ども・サポートの会、泉日本語サロン、茂庭台日本語サロン、RAN日本語教室

ii. 日本語ボランティアの活動支援

日本語学習の希望者に、学習支援のために日本語ボランティアを紹介するとともに、登録ボランティア向けの研修会を開催した。

ア 日本語ボランティア研修会

開催日：令和5年9月9日(土) / 場所：仙台多文化共生センター研修室

テーマ：日本語学習支援のための対話型活動～つたわる『やさしい日本語』での学習サポート～
講師：聖心女子大学 教授 岩田 一成 氏 / 参加者：30名

イ 日本語ボランティアの登録と学習者への紹介

登録者ボランティア数86名、学習者希望申込者数15名、学習を開始した学習者数13名

ウ 市民団体が行う研修会への協力

iii. 地域日本語教育の体制整備

外国人住民の新たな学習ニーズに応える地域日本語教育の体制づくりのため、コーディネーターを配置し、下記のとおり実施した。

ア 総合調整会議

開催日：第1回：令和5年7月7日(金)、第2回：令和6年2月15日(木)

内容：大学、市民団体、外国人コミュニティ、日本語学校等の関係者を招集し、市内の日本語教育の現状と今後の方向性、関係機関の取組の共有と連携の検討などを議論した。

イ 地域日本語学習支援検討会

開催日：令和5年12月11日(月) / 出席者：市内15教室、関係者18名

内容：地域日本語教室等関係者を対象とし、外国人住民や市内各教室の状況を共有するとともに、地域日本語教育の体制整備事業について取組み状況や方向性を説明した。

ウ オンライン教室

外国人住民の学習ニーズに対応するため、関係機関等と共催、協力しながら、新たな学習機会(オンライン教室)を創出した。

子ども対象：全26回、受講者数：101名 / 成人対象：全20回、受講者数：19名

エ ポータルサイトの運営

地域日本語教育について市民と効果的・効率的に情報共有を図るため、ウェブサイトを公開し、関連情報を発信した。日本語（通常・ふりがな）と英語に加え、中国語、韓国語も追加した。

② 生活支援事業

外国人住民が、交通安全や防災、文化・習慣など日本での生活に必要なことについて学び、地域で安心・安全に暮らすためのオリエンテーション等や生活に必要な情報の翻訳と広報を実施した。言語や習慣等の違いから学校生活や進学に困難を抱える外国につながる子どもとその家族を支援するため、ガイダンスや学習教室の開催、情報提供等を行った。また、困窮する外国人住民向けの情報発信、支援も行った。

i. コミュニティ通訳サポーターの募集・派遣

行政窓口等で日本語と外国語の橋渡しをする「コミュニティ通訳サポーター」の登録、派遣を行った。

ii. 生活オリエンテーションの開催

外国人住民が安心・安全に暮らすため、日本語講座、日本語学校、専門学校、大学等に出向いて生活オリエンテーションを行った。

ア せんだい日本語講座「にほんごカフェ」

期 間：令和5年4月～令和6年1月（全4回） / 参加者：延べ56名

テーマ：仙台観光国際協会の紹介、災害・防災、生活情報（節約方法）、医療機関の受診方法、救命救急

イ 出前講座 開催数：通年10回 / 参加者：延べ644名

iii. 生活情報の多言語化

健康、子育て、防災など外国人住民の生活に必要な情報を行政機関や市民団体と連携して多言語に翻訳・提供した。また、仙台市と協力して、生活困窮者支援や各種給付金等の情報も多言語化し発信した（全21件、主にベトナム語、ネパール語への翻訳）。

内訳は、新型コロナウイルス感染症情報6件をはじめ、生活、健康・子育て、税金年金、ごみ等

iv. FMラジオ多言語放送による情報発信

FMラジオ4局の協力を得て多言語による情報発信を行った。平常時は季節の話題や生活情報を提供し、災害発生時には支援情報を提供するツールとして活用した。

放送日：言語ごと月1回14分 / 内容：生活情報、イベント情報等 / 言語：英語、中国語、韓国語、やさしい日本語 / 協力：エフエムたいはく、fmいずみ、ラジオ3、エフエムなとり

v. 外国につながる子どもの支援

外国人児童生徒をはじめとする外国につながる子どもを支援するため、通訳や情報提供、学習支援のできるコーディネーターを学校等に派遣した。

ア 「外国につながる子どもサポートせんだい相談デスク」

- ・相談事案数：92件（未就学2件、小学校57件、中学校30件ほか）
- ・コーディネーター・職員派遣数：67件（小学校43件、中学校19件ほか）
- ・公開研修会（令和6年1月13日（火）参加者数：43名）
- ・コーディネーターミーティング（オンライン）（令和5年8月8日（火）参加者数：5名）
- ・日本語学習の教材の整備・貸出（新規貸出：13校、継続貸出：10校）

- イ 「日本語を母語としない子どもと親のための進路ガイダンス宮城 2023」
開催日：令和 5 年 7 月 29 日（土） / 場所：仙台多文化共生センター，Zoom
内 容：会場とオンラインで高校進学に関する情報提供，質疑応答を行った。参加者 40 名。
- ウ 日本語を母語としない小中学生のためのオンライン教室
共催：宮城教育大学 / 協力：宮城県国際化協会
内容：Zoom を使用し，毎週水・金の全 10 回，教科学習，日本語学習支援を行った。
- エ 「日本語を母語としない小中学生のための夏休み教室」（後援：仙台市教育委員会）
開催日：令和 5 年 8 月 9 日（水），10 日（木） / 場所：仙台多文化共生センター研修室
参加者：延べ 27 名（未就学児 4 名，小学生 14 名，中学生 1 名），支援協力者（学生ボランティア）延べ 32 名。
内 容：外国につながる小中学生を対象に，宮城教育大学・東北大学と協働し小中学校の夏休み期間中の 2 日間にわたって，工作などの活動を通じて交流を深めた。
- オ 外国人児童と家族のための小学校入学準備講座
令和 6 年 2 月 17 日（土），小学校生活や準備物，子どもの学習に関する情報提供，言語別相談の場を開設し，9 家族 20 名が参加した。
- vi. 多言語による防災情報発信及び防災訓練の実施
外国人市民への防災啓発を図るとともに，外国人市民の防災活動・災害時支援における市民協働を推進した。
- ア Date fm 防災番組「Sunday Morning Wave」への協力
番組内「Global Talk」のコーナーに出演するゲストについて，防災活動に取り組む外国人住民等を紹介し，Date fm（エフエム仙台）に協力した。
放送日：毎月第 2 日曜日 / 番組名：防災情報番組 Sunday Morning Wave 内「Global Talk」
- イ 留学生のための多文化防災ワークショップ
開催日：令和 5 年 6 月 17 日（土）
場 所：仙台多文化共生センター，名取市閑上，震災遺構旧荒浜小学校
内 容：外国人住民の防災・減災意識の定着を図るため，防災に関心のある外国人留学生・外国人市民等を対象とし，東北大学災害科学国際研究所と共催で日本の災害や防災についての講義，震災遺構の見学を含むワークショップを実施し，18 名が参加した。
- ウ 仙台/長町駅周辺帰宅困難者訓練への協力
市内ターミナル駅における災害時を想定した帰宅困難者訓練に参加，交通事業者や周辺施設の関係者の外国人対応力の向上に協力した。
- 【仙台駅周辺帰宅困難者訓練】
開催日：令和 5 年 8 月 31 日（木）/場所：JR 仙台駅周辺 /参加者：職員 2 名
- 【長町駅周辺帰宅困難者訓練】
開催日：令和 5 年 11 月 8 日（水）/場所：JR 長町駅周辺 /参加者：外国人役 7 名（留学生交流委員，外国人防災リーダー，災害時言語ボランティア）
- エ 仙台市消防局外国人対応研修への協力
仙台市消防局警防部指令課職員向けに，外国人住民とのコミュニケーションや外国人から通報を受けた際の訓練を行った。

開催日：令和5年10月11日（水）/場所：仙台市消防局7階講堂 /受講者：仙台市消防局
警防部指令課職員20名

オ 仙台防災未来フォーラムへの参加

宮城県国際化協会との共催で、「外国人住民と防災」についてパネルトークを行った。

開催日：令和6年3月9日（土）/場所：仙台国際センター展示棟 /参加者：35名

vii. 留学生へのリサイクル自転車斡旋

留学生の生活支援を図るため、仙台市が回収した放置自転車を宮城県自転車軽自動車商業協同組合の協力により修理し、市民団体と協力して留学生に斡旋・販売した。

開催日：令和5年4月23日（日）/場所：仙台多文化共生センター内研修室 /申込者：60名，販売台数：39台

viii. ウクライナ避難民支援事業

避難民支援の調整員を配置し仙台市に避難したウクライナ避難民に関する問合せや相談に対応したほか、仙台市や関係団体が行う支援につなげるための調整及び翻訳・通訳支援を行った。

（2）災害時の外国人支援

① 仙台市災害多言語支援センター運営事業

大規模災害発生時、外国人住民や旅行者など、言葉や習慣等の違いから情報が入手しにくく支援が受けられない恐れがある外国人を支援するため、仙台市が設置する「災害多言語支援センター」を運営するための訓練を行った。

i. 仙台市災害多言語支援センター設置・運営

令和5年度は設置なし

ii. 仙台市災害多言語支援センター設置運営訓練

開催日：令和6年2月5日（月）/場所：仙台観光国際協会4階会議室 /参加者：27名

② 仙台市災害時言語ボランティア育成事業

大規模災害発生時に外国人被災者の支援を行う市民ボランティアを「仙台市災害時言語ボランティア」として募集し、研修を行った。

i. 登録

登録者91名，対応言語25言語（複数言語登録あり）

ii. 研修会，訓練

ア 仙台市災害時言語ボランティア公開研修会（令和6年1月21日（日）仙台国際センター）

災害時言語ボランティアと災害時の外国人支援に関心のある市民を対象に、熊本市での対応事例や課題をもとに仙台市で災害が発生した際の対応について考える研修会を実施し、66名が参加した。

テーマ：「熊本市の事例から考える～災害時における外国人支援」

講師：熊本市国際交流振興事業団事務局長 勝谷 知美 氏

(3) 地域づくり支援事業

市民が自主的に行う国際交流，国際協力，多文化共生に関する活動に対して補助金を交付したほか，外国人住民の状況や多文化共生について考える講座を開催した。また，令和5年5月にG7科学技術大臣会合が仙台市で開催されることに合わせ，G7参加国について理解を深めるための市民対象セミナーをオンラインで開催した。

① 地域づくり支援事業

i. 国際理解の推進

学校，市民センター等が実施する国際理解事業に対して，講師の紹介や情報提供などを支援した。

ア 人材の登録と派遣

登録者：87名（30の国・地域） / 派遣件数：25件（小学校9，高校5ほか） / 派遣講師：49名 / 参加者数：1,013名

イ G7関連イベント「G7参加国出身ゲストのとおきの話」（オンライン）

イギリスの部：令和5年4月8日（土）開催，参加者27名 / イタリアの部：令和5年4月15日（土）開催，参加者25名 ※フランス，カナダ，アメリカ，ドイツは令和4年度に実施。

ii. 市民団体による多文化共生活動等の支援

市民の自主的な国際交流，国際協力，多文化共生等の活動促進を図るため，事業経費の一部を補助した。交付団体数：10団体，交付額：801千円

iii. 多文化まちづくり動画制作プロジェクトの実施

仙台における多文化共生の推進を図るためウェブサイトを作成し，仙台で暮らす外国人の声や国際交流・協力的分野に関わる市民団体の活動の様子，協会事業を動画で紹介した。動画を作成するにあたり，基本的な知識及びノウハウを学ぶための研修会を開催した。

ア 動画制作のための研修会の開催

開催日：令和5年6月10日（土） / 場所：仙台多文化共生センター / 内容：撮影準備・企画について / 参加者：留学生交流委員14名

イ 動画制作

- ・多文化共生，国際交流・協力に関わる市民活動の紹介（1本）
- ・外国人住民の生活・活動紹介（6本）

iv. 多文化共生講座の開催

区役所等で窓口を担当する職員および地域住民を対象として，外国人住民対応研修を実施した。

ア 区役所等職員対象研修

イ 地域住民対象研修

ウ その他

仙台東高校グローバルウィーク（学生，教職員），学びの還元研修会（市民センター等職員，市民），花京院包括区域ケア会議，外国人留学生等にかかる国民健康保険等事務連絡会

(4) 人材育成事業

国際交流や外国人支援に意欲のある外国人留学生を，せんだい留学生交流委員として委嘱し，各種事業への協力を得るとともに，地球規模の課題や地域の課題について考える機会を提供した。

① 人材育成事業

i. 留学生による多文化共生活動の促進

外国人留学生を、協会や仙台市が行う諸事業への協力などの活動を行う「せんだい留学生交流委員」に委嘱し、その活動のための奨励金を支給した。前期 18 名、後期 18 名。

活動内容：各種講座・ラジオ出演等、協会事業への協力、仙台市事業への協力

(5) 国際交流事業

国際姉妹友好都市等から訪れる市民団の受入により、市民の国際交流活動を促進した。

① 国際交流事業

i. 海外から訪れる市民団との国際交流促進

ア ホストファミリーボランティア（登録者数：69 家庭）

他団体が主催するホームステイ登録説明会の情報提供を行った。

イ 仙台国際ハーフマラソン大会 2023 国際姉妹都市等交流会（共催：仙台市）

令和 5 年 6 月 4 日（日）仙台国際ハーフマラソン大会の終了後に、江陽グランドホテルを会場に国際姉妹都市等交流会を開催し、各都市選手、市民等 211 名が参加した。

ウ 国際友好都市提携 25 周年記念ダラス市民訪問団受入

令和 5 年 7 月 17 日（月・祝）～21 日（金）の 5 日間、国際友好都市のダラス市から市民訪問団 12 名を受入れ、市長表敬、関係団体訪問、市民交流会開催、市内・松島観光を行った。

5. 調査・研究・広報・情報発信に関する事業

活力ある都市づくりに資することを目的として、仙台の観光、コンベンション並びに多文化共生に関する調査・研究広報・情報発信を行うことにより、各分野における事業を推進した。また、外国人住民向けに生活困窮世帯等への各種給付金情報を多言語で提供したほか、ウクライナ避難民に関する支援情報の提供も行った。

(1) 調査・研究・広報事業

① 観光・コンベンション等に関する調査研究広報事業

i. デジタルを活用したマーケティングの推進【重点】

「仙台市観光 DMP」の保守運用管理業務として、GA4 への移行への対応などを実施したほか、DMP の各種データやウェブアンケートの結果を取りまとめた「仙台市観光実態調査」などの分析レポートをまとめ、計 4 回、賛助会員への発信、HP への掲載により情報提供を行った。

ii. DMO 事業の推進

令和 5 年 3 月 31 日に地域 DMO の候補法人としての登録を受け、KPI の評価を行うため、訪日外国人を対象として観光実態調査を対面によるアンケートを 3 回（夏、秋、冬）実施した。

iii. コンベンション施設関係者等との情報交換会の開催

・コンベンション施設関係者情報交換会

第 1 回：令和 5 年 7 月 13 日（木）10 名出席 / 第 2 回：令和 6 年 1 月 31 日（水）17 名出席

・コンベンション業務サポーター情報交換会

令和 5 年 7 月 14 日（金）6 名出席

iv. コンベンションカレンダーの作成

仙台のコンベンション等開催情報の提供を目的としたカレンダーを作成し、関係者へ提供した。
令和5年度下期版 10月発行 / 令和6年度上期版 3月発行

v. JCCB(日本コンgresコンベンションビューロー)・JNTO(日本政府観光局)を活用した調査研究

JCCB・JNTO から発信される情報を収集するとともに、全国のコンベンション関係協会と情報交換を行った。

- ア JNTO への国際会議開催情報の収集と実績情報の提供
- イ JCCB 事業(総会, ビューロー部会)への参加
- ウ JCCB データライブラリを活用したマーケティング活動

vi. 東北地区コンベンション推進協議会における調査広報

東北全体でのコンベンション活性化を目的とし、東北地区コンベンション推進協議会の運営、事業を行った。

- ・総会 期間: 令和5年7月6日(木)~7日(金) / 会場: アオーレ長岡(長岡市)
- ・研修会 期間: 令和5年10月26日(木)~27日(金) / 会場: アイーナ(盛岡市)

vii. コンベンション開催情報の収集及びデータベース化

コンベンション開催状況及び営業用情報の把握に向け、データシステムの運用より収集した大会等のデータベース化を行ったほか、サーバーの入れ替えを実施した。

viii. 各種コンベンション関係情報の発信

メールマガジンを7回発行した。

ix. コンベンションアンケート調査の実施

コンベンション開催助成対象会議を中心に、コンベンション参加者アンケート調査を実施し、報告書を作成した。対象件数: 44件 総回答数: 644名

x. 観光コンベンションセミナー(令和6年3月8日(金) 仙台国際センター)

インバウンドが回復しつつある中、仙台地域の消費を増やすため、地域として、また、事業者として取り組むべきヒントとなる情報の提供を目的にセミナーを開催した。

【第一部】 1. 基調講演

- (1) テーマ: 「訪日外国人旅行者受入にむけて地域が今やるべきこと~海外から選ばれる国際観光都市を目指して~」

講師: 株式会社 JTB 総合研究所主席研究員兼アドベンチャーツーリズム推進プロジェクト長 山下 真輝 氏

- (2) テーマ: マネジメントプラットフォームの活用「データから見るインバウンド」

講師: 仙台観光国際協会 DMO 担当部長 川口 順弘

- (3) パネルディスカッション

テーマ: 「インバウンドを街の誘客と個店の売り上げにつなげるポイント」

コーディネーター: 株式会社ライフブリッジ 代表取締役 櫻井 亮太郎 氏

パネリスト: 一般社団法人まちくる仙台 代表理事 石井 光二 氏

株式会社門間筆筒店 代表取締役 門間 一泰 氏

株式会社 GC-Lab (大人焼肉 Momo) 代表取締役 佐々木 康 氏

【第二部】 交流会 参加者数: 第一部 105名 / 第二部 49名

xi. 仙台・青葉まつりにおける有料棧敷席の販売運営の実証

令和6年開催の仙台・青葉まつりにおいて、青葉まつり協賛会として、有料棧敷席の販売を行うため、協賛会と仕組みについて調整し、販売の支援を行ったほか、旅行会社への情報提供や旅行商品の造成などにも取り組んだ。

② 多文化共生等に関する調査研究広報事業

多文化共生社会の形成及び国際交流や国際理解などに関する様々な事業を推進するため、地域の現状及び各種課題に関する調査・研究及び市民の理解促進を図るための広報事業を行った。また、外国人住民向けに生活困窮世帯等への各種給付金情報を多言語化し、各種ツールで広報した。

i. 多文化共生等に関する調査研究

多文化共生等にかかる現状、課題、今後の方向について調整・研究を行うほか、各種協議会や研修会への参加を通して、関係機関とのネットワーク構築を図った。

ア 地域国際化協会連絡協議会 総会（令和5年5月22日（月）東京グリーンパレス）

イ 東北・北海道国際化協会連絡協議会 総会（令和5年12月26日（火）オンライン）

ii. 多文化共生等に関する広報

広報紙、メールマガジン、SNSを通して事業を広報し、多文化共生に関する意識啓発を行った。また、他団体からの依頼により職員を派遣し、防災や多文化共生の取り組みを紹介した。

ア 「多文化共生情報誌 SENDAI Lifestyle」の発行

2.5千部／年2回発行（日本語）

イ 「国際化事業部ホームページ」運営

ブログ、Facebook、Twitter（日、英、中、韓、ベトナム、ポールの6言語）

ウ 「メールマガジン SenTIA メール」配信（日、英、中、韓、ベトナム、ポールの6言語）

登録者：2,625名 / 配信数：291件

エ 事業広報等のための講師派遣、原稿執筆等

派遣回数：15回 / 内容：防災・多文化共生について

③ 専門委員会調査研究事業

事業の推進及び活性化を目的に、各専門委員会を設置し、外部有識者等から意見・提言をいただいた。

i. 観光専門委員会

仙台市主催の「仙台観光交流未来会議」及び「交流人口拡大推進会議」を通じて、観光業界が抱える様々な課題や意見を集約できたことから、令和5年度の観光専門委員会の開催は見送りとした。

ii. コンベンション推進専門委員会

第1回（令和5年6月29日（木））テーマ：「MICE業界における課題と今後の対策」10名参加

第2回（令和6年3月13日（水））テーマ：「仙台のMICE業界を盛り上げるためには？」12名参加

iii. 物産専門委員会

第1回物産専門委員会（令和5年7月12日（水））

テーマ：「アフターコロナに向けた事業の方向性について」 9名参加

第1回工芸部会（令和5年9月19日（火））

テーマ：「アフターコロナに向けた事業の方向性について」 4名参加

iv. 国際化専門委員会

第1回：令和5年9月11日（月）

テーマ：「コミュニティ通訳サポーター派遣，外国につながる子ども支援，外国人のための専門相談会について」 7名参加

第2回：令和6年2月28日（水）

テーマ：「外国につながる子ども支援，仙台多文化共生センター移転，仙台市と東北大学の連携強化について」 8名参加

(2) 情報発信事業

国内外の観光客を誘致するため，仙台の最新の観光情報やイベント情報等の発信を実施した。

① 情報発信事業

i. 日本語版及び多言語版観光マップ作成

- ・仙台観光マップの作成及び配布 250千部（令和5年7月発行）
- ・多言語版観光マップ「SENDAI TOURIST MAP」作成 35.5千部（英，簡体，繁体，韓）

ii. 多言語版プロモーション用ガイドブック作成

- ・「SENDAI GUIDEBOOK」作成 49千部（英，簡体，繁体，韓，タイ）

iii. 仙台市観光情報サイト「せんだい旅日和」による情報発信

仙台市の観光，イベント情報，関連する役立ち情報等を紹介するWEBサイトの運営，管理を行ったほか，新たにInstagramアカウントを開設し，情報発信の強化を図った。

- ・総ページビュー数：年間6,759,147件

iv. 仙台PR素材画像等収集事業

仙台市の観光，イベント及び関連する情報等を紹介するWEBサイトの運営，管理を行った。

- ・総アクセス件数：年間4,115,689件 / ・総ページビュー数：年間4,938,484件

v. 機関紙等会員サービス事業

ア 機関誌 Sentia15号の発行及び賛助会員名簿の発行

イ 会員ホームページやメール配信を活用した情報提供

会員専用HPにマーケティングデータの公開コーナーを設置し，各種調査データを公開した。

ウ マーケティングデータの送付

デジタルマーケティング事業の一環で，四半期ごとにレポートを作成し，送付した（計7件）。

vi. 首都圏案内所等での情報発信

東京駅隣接の観光案内所「TIC TOKYO」において，仙台の観光案内パンフレットの配架，ポスター掲示及び，毎月1回SNSによる日・英両言語の記事発信を行った。また，令和6年1月～3月の3か月間，成田国際空港第1ターミナル中央ビル本館1階「Visitor Service Center」において，SENDAI GUIDEBOOK（5言語：英，簡体，繁体，タイ，韓）を配架した。

6. 情報提供・交流促進に関する事業

情報提供や交流促進を担う各種施設を円滑に運営することにより、地域の観光の発展と国際交流・多文化共生の促進を図った。

(1) 観光情報施設の運営

① 仙台市観光情報センター運営事業

国内外から来訪される観光客等を対象に、JR 仙台駅において市内観光情報や東北広域情報の提供及び相談案内を実施した。また、日本政府観光局（JNTO）による外国人観光案内所の認定制度において、東北初となる「カテゴリー3」の認定を受け、令和5年11月10日より運用を開始した。

(利用実績)

	年間利用実績（4月～3月）※営業日数：366日
日本人	92,899名（前年度比 118%）
外国人	19,307名（前年度比 264%）
計	112,206名（前年度比 130%）

(2) 仙台多文化共生センターの運営

多文化共生社会の実現を目的として、外国人住民や地域づくりに関わる市民に活動や学びの場を提供するとともに、幅広い交流の機会やにぎわいの場を創出した。

令和5年5月以降、新型コロナウイルス感染症の5類移行に伴い、これまで活動を休止していた市民団体による活動も活発化してきた。入場者数は前年度比で約130%増加し、観光案内所の情報提供数も約150%増加した。また、生活者としての外国人からは、より専門性を必要とする相談が求められ、「外国人による専門相談会」において、各専門機関と繋ぐことにより相談支援を行った。

① 仙台多文化共生センターの運営（開館日数・相談対応日数：各341日）

入場者数：12,615人（前年度比129.3%） / 相談受付数：3,612件（前年度比102.7%） /
図書貸出数：358冊（前年度比89.3%）

i. 外国人住民への情報提供・相談対応

市民団体との協働により、外国人市民の生活に関する情報を収集・提供した。また、仙台出入国在留管理局、仙台弁護士会、東北税理士会、宮城県行政書士会、宮城労働局等の専門機関と連携し、専門相談会を開催した。専門相談会実績：58件。

ii. 行政窓口等におけるコミュニケーション支援

外国語相談員及び通訳サポート電話の活用と行政窓口等で日本語と外国語の橋渡しをするコミュニティ通訳サポーターの派遣により、英語、中国語、韓国語、ベトナム語、ネパール語等の多言語にて外国人住民を支援した。

ア 外国語相談員（中、韓、ベトナム、ネパール）

イ 通訳サポート電話（英、中、韓、ベトナム、ネパール等 22言語、実績：771件）

ウ コミュニティ通訳サポーター 登録者数：60名（16言語）

派遣実績：110件（小34、中34、区役所9、保育園8、幼稚園5、こども園5、児童館4他）

iii. 国際活動・多文化共生に関わる団体の支援

国際交流・多文化共生に関わる団体の情報を収集・提供したほか、登録団体に対して活動場所を提供し、事業の広報に協力した。団体登録数：140団体（うち研修室利用登録団体：75団体）

iv. 外国人観光案内所としての情報提供

214件（日本人129、外国人81、外国人対応者4）（前年度比153.9%）

v. 『仙台生活便利帳（多言語版）』（仙台市発行）の編集

令和6年3月発行：計6.7千部（5言語：英，中，韓，ベトナム，ネパール）
ウクライナ語版，ロシア語版をウェブサイトで公開。

vi. 広報誌発行

『仙台多文化共生センターだより』（年3回発行）

日本語版1.1千部／回，

英語版，中国語版，韓国語版，ベトナム語版，ネパール語版各700部／回を発行

[収益事業]

1. 観光駐車場等管理運営事業

仙台を訪れる観光客の利便性向上のため，仙台駅東口駅前広場観光・送迎バス乗降場の管理運営を行った。

(1) 観光駐車場等管理運営事業

① 観光駐車場等管理運営事業

仙台駅東口駅前広場観光・送迎バス乗降場の管理運営

(利用実績)

	令和5年4月1日～令和6年3月31日
利用台数	22,692台 (前年度比115.3%)
利用金額	12,694,000円(前年度比119.7%)

2. 物産・銘産品等販売事業

(1) 物産・銘産品等販売事業

① 観光案内所等における物品販売

るーぷる仙台一日乗車券販売手数料

販売収入	29,105円
------	---------

② 物産品販売事業

仙台で開催されるコンベンションや県内外で開催される催事・オンラインショップ等において，仙台の物産・銘産品を販売し，物産振興と販路拡大を図った。

i. るーぷる仙台チョコQ販売及び名刺台紙の販売

品名	令和5年4月1日～令和6年3月31日
るーぷる仙台チョコQ	3,724,657円(前年度比139.4%)
名刺台紙	9,350円(前年度比63.0%)

ii. オンラインによる物産販売【重点】

オンラインショップ「伊達な銘品横丁」を活用し，仙台の工芸品や食品等のオンライン販売及び紹介を行うとともに，関係団体による仙台の物産品の販売機会の創出，認知度の向上を図ったほか，他業種連携による「仙台名物こけし」の販売も行った。

販売収入	997,458円
------	----------

iii. 物産品の催事販売

コンベンション会場等での販売

販売収入	993,682円
------	----------